

ファミリー



小野市立河合中学校 小野市三和町 983-2

学校評価と分析について

小野市立河合中学校長 坂本 敏裕

令和2年度も残すところ少なくなってまいりました。保護者の方には、この一年間、本校教育に多くのご協力、ご支援をいただき深く感謝申し上げます。

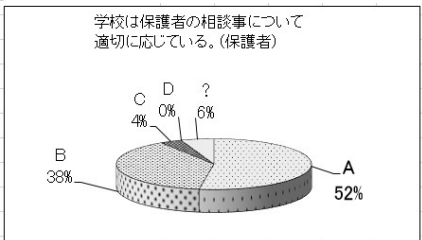
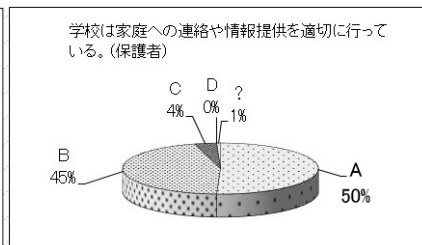
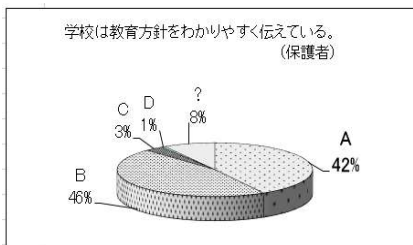
さて、学校教育活動に関する保護者とお子さまからのアンケートの回答をもとに、集計結果を分析し、今年度のふり返りと今後の取り組みの方向性について下記のようにご報告させていただきます。

アンケート結果の見方について

アンケートは 6～9 年生の保護者と児童生徒を対象とし、各質問内容について、「A=そう思う」、「B=ややそう思う」、「C=あまりそう思わない」、「D=そう思わない」、「? =判断できない」の選択方式で実施しました。分析は「A・B」を肯定的な評価と捉え、類似する質問ごとに総括し、主だった内容について取りまとめています。

1 家庭・地域への情報提供と連携

今年度は緊急事態宣言等の影響で4月から5月にかけての休校期間中を始め、新型コロナウイルス感染症への対応で、保護者や地域の皆様に急な連絡をする機会が多くありました。本校では、連絡の方法として、学校のホームページとメールを併用しておりますが、メールについては今年度から「マメール」に代わり「スクール連絡網」を利用することになりました。保護者の皆様にはご登録の手続きなどお手数をおかけしましたが、保護者の方のアンケートからは、多くの肯定的な評価を頂くことができ、スムーズに移行ができたと感じています。また、学校の教育方針や行事予定を毎月発行しています学校だより「Family」等でお伝えしてきました。学校の様子を保護者の皆様にお伝えすることを通して、教育活動へのご理解が深まるとともに、学校と保護者・地域の皆様が連携することでお子さまへの教育活動の効果も高まっています。今後も、教育活動にご理解をいただけるよう、丁寧な情報発信に取り組んでいきます。



2 学校生活の充実度

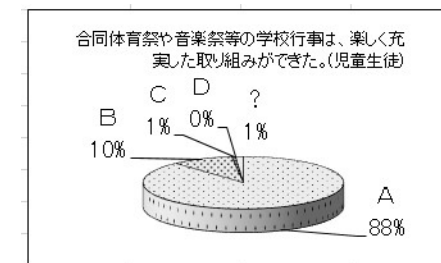
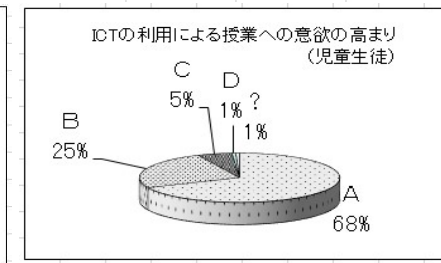
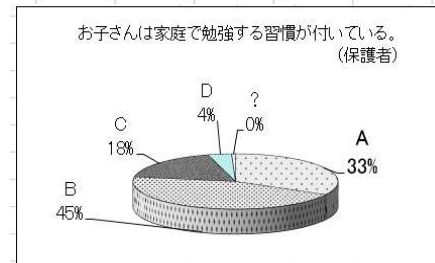
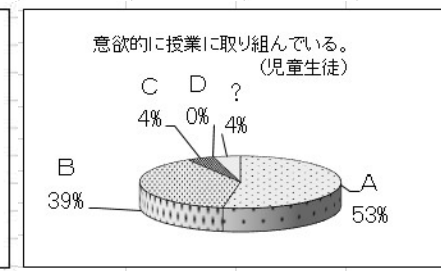
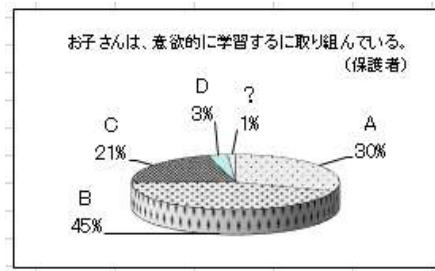
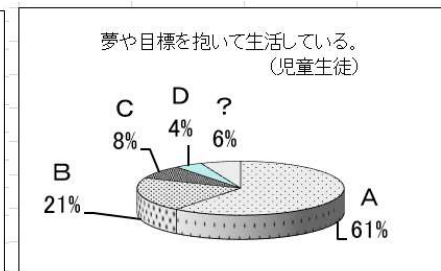
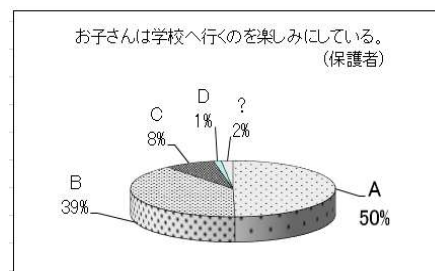
右のグラフは、学校での生活の充実度に関する項目を保護者と児童生徒で並べたものです。前向きな気持ちを持って学校へ通っているようすがうかがえます。また、学習に取り組むようすも、保護者の方からの見方、子ども達自身の気持ちのいずれも高い評価を得ており、子ども達が意欲を持って取り組んでいることが分かります。

授業では、実物投影機やプロジェクター等のICT機器を子ども達の興味を高め、理解を深めることに活用しています。来年度からはタブレット端末が一人一台ずつ導入されます。これらICT機器をより効果的に用いた授業づくりに取り組んでいきます。

学年が上がるとともに、学習内容が増え家庭での学習習慣も重要になってきます。日々の課題とともに定期テストなどに向けた適切な課題の設定を通じて計画的に学習できる習慣作りを進めています。ご家庭でも時折お子さまの様子を見ていただければ幸いです。

「学校行事への取組」については、右のグラフから、多くの児童生徒や保護者の方々が肯定的に評価していることがわかります。コロナ禍の影響で、中止となった行事があったり、内容を変更して実施した行事があったりしましたが、その中で児童生徒は楽しく充実した取り組みができ、保護者の方々もお子様の一生懸命な姿を見ることができたことが肯定的な評価につながっていると推察されます。

来年度もコロナ禍における学校生活の状況は不透明な部分もありますが、児童生徒の皆さんの安心・安全を最優先にしながら、それぞれの学校行事の目的を検討し、感染症対策を取りながら、充実した内容となるように、教職員と児童生徒会を中心とする児童生徒が一体となって、児童生徒が主体となる、また成長の機会となる学校行事への取り組みを進めて参ります。

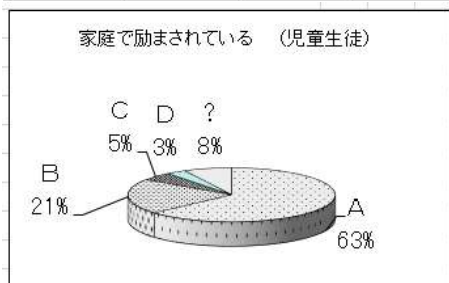
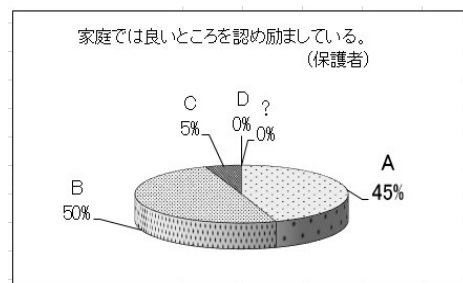
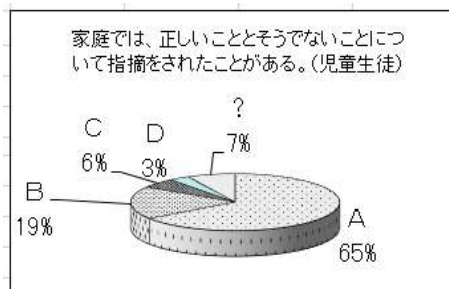
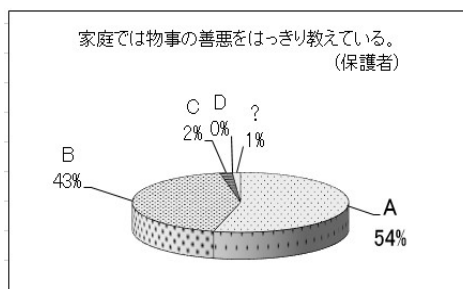


3 家族との関わり・家庭生活

家庭のご指導、協力あつての学校生活です。いつもありがとうございます。

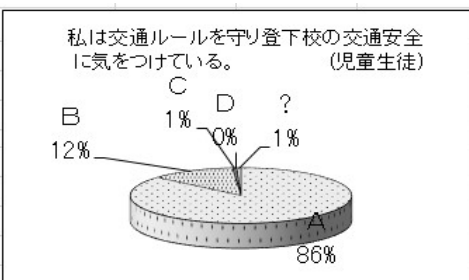
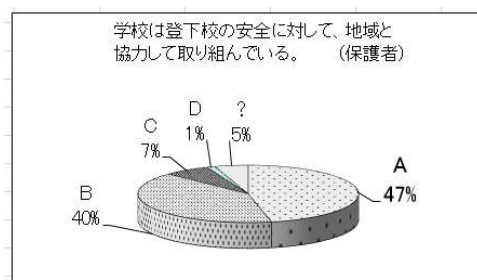
この1年、多くの人が人のために行動できる素晴らしい姿を見せてくれました。

家庭でお子様と話をされる中で、気になることがございましたら、いつでも学校にご連絡ください。



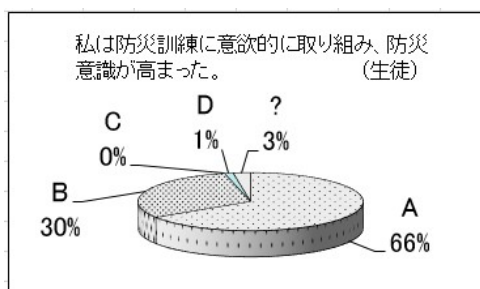
4 安全な登下校、防災訓練・防災意識の高揚

「交通ルールの遵守、安全な登下校(児童生徒)」の項目は、生徒の自己評価と現実が異なると感じています。



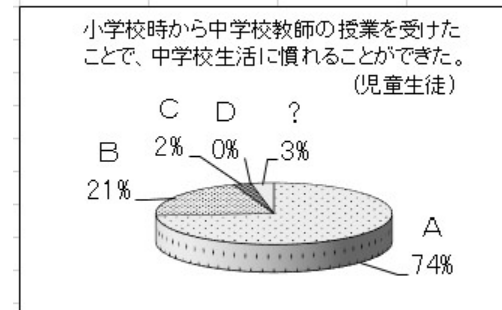
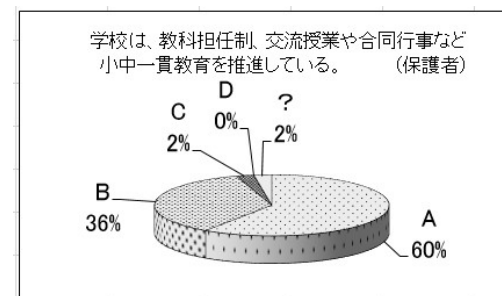
並列になっていなくとも、車目線で見ると大きく広がっているように見えます。今年度も地域の方から危険な運転についての連絡が何度かありました。教員も立ち番を行ったり、指導を継続していきます。ご家庭でも交通安全に関する話をしていただけると助かります。

「防災訓練・防災意識」については、例年行っている防災訓練によって子ども達が防災意識が高まっています。1月17日の「阪神・淡路大震災の日」の前後に地震を想定した避難訓練を実施するとともに、道徳の授業では命の大切さについて考える機会を設けています。今年は中止となりました消防署の方による講演については、来年度はぜひ実施したいと考えています。また、アレルギー対応の緊急時対応訓練や、教員間で AED や心肺呼吸蘇生訓練を実施しています。子ども達の安全を守るためにこれからも継続して取り組んでいきます。



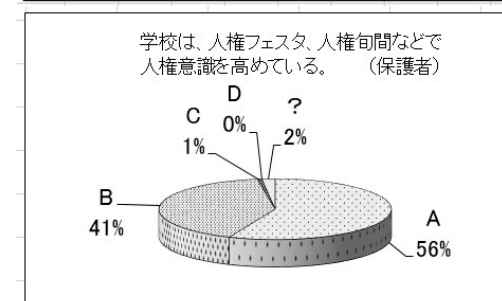
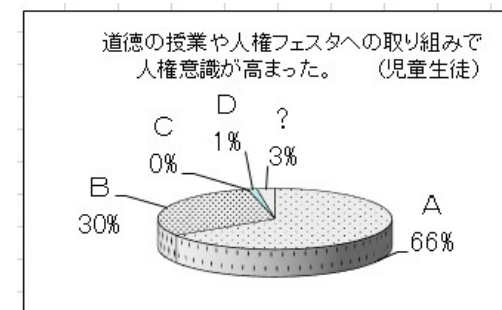
5 小中一貫教育の推進

5・4制による小中一貫教育が今年で5年目を迎えます。保護者の方からは「小中教員による教科担任制、交流授業や合同行事などを組み入れた小中一貫教育に積極的に取り組んでいる」という項目において9割以上の肯定的評価をいただき、小中一貫教育への深いご理解が伺えて大変感謝しております。また、中学校舎で過ごしている6年生児童を含め児童・生徒全体の9割以上が「小中交流授業は有効である」と回答しています。今後、小中の教職員がさらに一体となって、「他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成」という教育目標実現へ精進していききたいと思います。そして、現在、「小中一貫の有効性」を実感しておられる保護者の方の「7割」という数字をさらに高められるよう、充実させていきたいと思っています。



6 人権・心の教育

「人権フェスタ、人権旬間などで人権意識を高めている」の項目では、児童生徒・保護者共に昨年に比べて「そう思う」から「ややそう思う」にポイントが動いています。今年はコロナの影響で、人権旬間を設けることもできず、人権フェスタも人権弁論と授業参観の実施のみになってしまったことが残念です。しかし、肯定的な意見が90%を超え、保護者においては 97%に達しています。これは、人権について考える機会は、人権フェスタや人権旬間だけでなく、日々の児童生徒たちの生活の中にあるのではないかと考えます。これからも、それぞれの学年で人権学習を充実させ、思いやりや心の豊かさを培っていき進めていきます。



7 総括

保護者の皆様には、お忙しい中、学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。今回、ご回答いただきました項目について学校内で検証を行いました。本校の児童生徒は年々落ち着いた生活を送ることができており、それも家庭や地域の方々に支えられているためであると、アンケート結果より改めて感じることができました。そして子ども達のアンケートからも学校生活に前向きな気持ちで取り組んでいる様子うかがえました。一方で保護者の皆様からは来年度に向けたご意見もいただきました。河合の里の学校として、保護者の皆様や地域の皆様のご期待に添えますよう教育活動の充実に向けて努力してまいります。今後とも本校教育にご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。